



興梠 桃子 相談員
(今) ☎ 83-0524

～結婚相談員紹介～

結婚相談員の興梠です。
近年新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によりスムーズに活動もできないこともありましたが、今年に入り少人数の交流会も行われております。
その中でも「カップル誕生」と明るい話題もあり大変嬉しい限りです。
まだこれからと思われる皆さん！とりあえずあと一歩踏み出して交流会に参加してみませんか...？
個人紹介も行っておりますので、気を楽しみにしていつでもご相談ください。

～楽しみながら“素敵な出会い”を探しませんか？～

結婚対策事業 YOU & YOU では、出会いから交際、結婚まで丁寧にサポートを行うために、会員登録を行って頂いております。登録いただいた個人情報につきましては、当事業にのみ使用します。秘密は堅く守られます。

登録対象者 男性：山都町に在住もしくは勤務している 20 歳から 49 歳の独身の方
女性：町内外 20 歳から 49 歳の独身の方

素敵なパートナーとの出会いは、あなたの勇気ある一歩から始まります！お待ちしております。

問合せ YOU&YOU 事務局 (役場山の都創造課内) 坂元・吉田

【電話番号】 72-1158 【専用電話】 090-9565-9589

【専用アドレス】 marriage.support@town.kumamoto-yamato.lg.jp

会員登録はこちら



やまと文化の森だより

企画展のご案内

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容が変更になる場合があります。

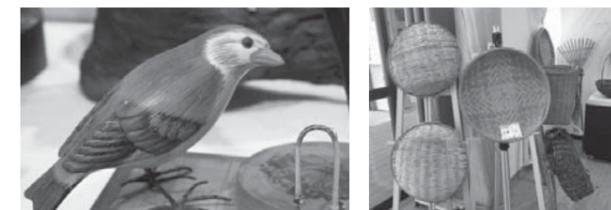
好評開催中!! (最終日は 15 時までの展示です)

○第3回おたっしや作品展 (11/2～11/27)

シニアクラブの皆さんが作った作品展やものづくりワークショップなど盛り沢山のイベントを開催中です。

おたっしや野菜の販売や、カラオケ大会などシニアから「元気」のおすそわけ。

(詳しくはやまと文化の森チラシまたは、電話でお問合せください)



○第3回クリスマスツリーコンテスト

(12/1～12/25)

今年も山都町内の皆様のご協力をいただきクリスマスツリーコンテストを開催します。

毎年華やかなイルミネーションや、趣向をこらしたアイデアツリーが並びます。

○ハッピークリスマスコンサート

12/24 14:00 スタート

クリスマスソングや冬の名曲を楽しく演奏します。入場無料です。

クリスマスマーケット in やまと

12/17、12/18

場所：やまと文化の森駐車場

クリスマスにちなんだハンドメイド雑貨や商品が並びます。

キッチンカーやパンの販売もあります。



問合せ やまと文化の森 山都町下市 16 番地 ☎ 72-9400 開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日/毎週月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日)、年末年始など

わたしたちの人の人権

212

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です

人権作文の紹介 (令和三年度)

今月は、清和小学校 二年 (当時)
山下結衣さんの作文をご紹介します。

『うちの人のしごと』

わたしは、二学期のけん学しゅうで、「うちの人のしごと」をべんきょうしました。

この話のでてくるゆうすけくんのお父さんは、食肉センターではたらいています。夏休みにお父さんのしごとばにつれていってもらってわかったことをかいたお話しです。

わたしが、この話をべんきょうして、すごいと思ったことが一つあります。それは、ゆうすけくんのお父さんが食肉センターではたらいっていることです。

なぜかという、食肉センターでは、牛やうまなどのいのちをいただいてお肉をつくっています。そのお肉を食べるのは、わたしたちみんなです。みんなのためにやっているおしごとだと思っただけです。



わたしは、さいしょこのお話しをよんでなみだがでてきました。それは家がかつていた大すきだった牛のことをおもいだしたからです。でも、いまはすこしへいきになりました。それは、かわいそうと思うきもちもだいじだけど、それだけでおわるんじゃないくて、そのしごとをしている人のほんとうの思いや本当のことをしっていくことが大じだと分かったからです。

わたしの家の人は、三百四十頭の牛をそだてています。うちでは、うまれて三十日から五十日くらいの子牛をかつてきて二年間そだてています。

おとうさんとお母さんたちは、朝の五時半からぎゅうしゃの見回りをします。なんでこんなに早いのかというと、牛がその時間くらいにおきるからです。見回りがおわるとそうじをします。そして七時になったら朝のえさやりです。三百四十頭ぜんぶにえさをやるためには二時間もかかりません。一頭一頭年れいやせいちょうがちがうのでえさのしゅるい

やりようもみんなちがいます。えさやりがおわったら牛がねているところをきれいにします。

そして、十時からお屋のえさやりです。えさやりがおわったらまた見回りをします。子牛がびょうきになっていたり、おき上がれない牛がいたりするとたすけにいきます。

また、畑のたいひを作る仕事もしています。牛のふんをかわかして、たいひにするために一日に何回もふんをはこんでいます。最近では、たいひの注文もふえて大へんそうでした。ゆうがたの四時になったらまたえさやりです。人間も一日三しょくたべるけど牛もまい日三しょくたべます。

見回りとえさやりだけじゃなくて、ぼく草のいかつけや出荷、牛のいどうや十五頭ずつきろくをつけるしごともあります。

そして、夜の九時から十時まで一時間、また見回りをします。わたしも、たまについていくことがありますが。

お父さんがしごとでうれいしことは、「みんなのためにしつかりとたべものをつくらせているんだ。」という思いになるときだそうなんです。一年生のころに、やべのおみせで、うちの牛がお肉としてうられていたのを見つけてうれしくなりました。お父さんがしごとでたいへんなの

は、生きている牛をあいてにしている、休むことができないことだそうなんです。

お父さんやお母さんたちはきつときでも休みたいと思ったときでもがんばっているんだなと思いました。お父さんはもともとこのしごとをしたかったと思っていなかったんですけど、牛をそだてるのはきつそうとか、たいへんそうかと思っていなかったんですけど、でも、今このしごとをやっていてとてもよかったと思うと話してくれました。それは、牛のいのちをいただいてお肉を食べることはしぜんのこと、みんなのあたりまえにあるせいかつをささえていると思うからだそうなんです。

お父さんお母さんがしているしごととはみんなのためにしていること、だいじなしごとだとわかってよかったです。

わたしは、子牛にミルクをやった、とこだしをてつだったりします。お母さんがいそがしそうなきには、たまにだけ、四さいの妹にめだまやきやたまごやきをつくってあげたりします。

これからもがんばろうと思いましたが、



©2010 熊本県くまモン